

研究課題名	慢性肝疾患と腸内細菌叢との関連を探索する研究
研究の意義・目的	腸内細菌が作り出す物質は門脈を介して肝臓に到達し、これらが肝硬変や肝性脳症、肝細胞癌などの慢性肝疾患の病態に関与していることが明らかになってきました。そして、腸内細菌の種類や、腸内細菌によって産生された代謝産物を調べることで、発病の予測や予防、治療に役立つ可能性があると考えております。これら肝疾患と腸内細菌の関連を明らかにする目的で、登録された患者さんの病理標本を使用させていただきますと思います。
研究を行う期間	承認後～2028年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	承認後～2027年3月31日の期間に、大阪公立大学医学部附属病院に通院もしくは入院加療をしている慢性肝疾患患者の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	当施設で取得した匿名化された病理標本を使用させていただきます。
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名（提供元について）	氏名：伊倉 義弘 研究機関名：社会法人愛仁会高槻病院 病理診断科
提供する試料・情報の取得の方法	匿名化された病理標本を使用します。社会法人愛仁会高槻病院 病理診断科にて、肝細胞癌の病理型（steatohepatic HCCの有無）を確認いたします。大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学が共同研究の代表施設として研究いたします。
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者	研究責任者 氏名：藤井 英樹 研究機関名：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学
試料・情報を利用する者の範囲	大阪大学 微生物病研究所 環境応答研究部門 遺伝子生物学分野 原 英二 慶應義塾大学 先端生命科学研究所 福田 真嗣 国立遺伝学研究所 生命情報研究センター 豊田 敦 北海道大学 大学院生命科学院 生命科学専攻 中岡 慎治 特定国立研究開発法人理化学研究所 統合情報開発室 鈴木 健大 神奈川県立産業技術総合研究所 中藤 学 筑波大学大学院生命環境科学研究所 尾花 望 九州大学大学院 消化器・総合外科 伊藤 心二 東京科学大学 難治疾患研究所 島村徹平
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	研究責任者 氏名：藤井 英樹 研究機関名：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。

<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学講座 (担当者氏名) 藤井英樹 電話番号 : (06) 6645—3905
------------	--